

第6回 廃棄物処理施設維持管理技術事例研究発表会報告

(第55回生活と環境全国大会共催行事)

- ☆ 会 期：平成23年10月25日（火）
- ☆ 会 場：宮城県 仙台国際センター 大会議室 橋
- ☆ 時 間：9時50分～15時30分
- ☆ 開催趣旨：会員ならびに廃棄物処理に関わる方々による廃棄物処理施設の管理運営等に関する日頃の成果の発表をつうじて意見交換を行いもって関係者の資質向上の機会となることを目的とし実施しました。
- ☆ 開催案内：各都道府県・政令市・主要団体等および
機関誌『季刊環境技術会誌』143～144号並びにホームページに掲載
- ☆ 参加者：120名

☆プログラム：

09:50 開会

主催者挨拶 寺嶋 均（一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会会長）

座長代表挨拶 鈴木 昇（宮城県産業廃棄物協会会長）

第6回の発表応募演題は、特別講演と被災地からの報告3題、3.11大震災に遭遇して廃棄物処理関係団体の対応5題、災害廃棄物を処理した過去の最終処分場の事例3題に分け、各発表時間12分、質疑応答3分の形で進められた。

以下、各講演者の講演テーマをクリックすると講演資料がご覧いただけます。

10:00～10:45

特別講演と被災地からの報告

座長 鈴木 昇（社団法人 宮城県産業廃棄物協会会長）

10:00 特別講演「放射能汚染された廃棄物・その可能性のある廃棄物との接し方」

佐藤 修彰（東北大学多元物質科学研究所准教授）

[1 「3.11大震災を超えて いわき市の対応」](#)

園 部 洋（いわき市生活環境部環境整備課）

[2 「東日本大震災における災害家庭ごみ仮置き場の運営管理」](#)

舟山 重則（仙台環境開発株式会社）

[3 「3.11巨大津波からの復旧・復興」](#)

柴崎 宏樹（株式会社サイコー）

※11時40分～12時00分

☆ 特別行事

- 一 一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会会長感謝状贈呈式
- 二 年間論文賞表彰式

12:00～13:00 昼食、昼休み

13:00～14:35

3.11 大震災に遭遇して廃棄物処理関係団体の対応

座長 寺嶋 均（一般社団法人 廃棄物処理施設技術管理協会会長）

4 「福島第一原子力発電所の事故による影響と社会貢献と

①電力逼迫対策 ②放射能の影響

大塚 好夫（東京23区清掃一部事務組合 施設管理部）

5 「ごみ処理施設の被災状況とその後の対応について」

藤原 周史（財団法人日本環境衛生センター環境工学部）

6 「東日本大震災による施設の長期停止対応と復旧に向けて

—気仙広域連合衛生センター—

清水 昇（アタカメンテナンス株式会社気仙事業所）

7 「仙台市殿向け仮設焼却炉による震災廃棄物処理について」

澁谷 榮一（JFEエンジニアリング株式会社環境プラント事業部長）

8 「太平洋セメント大船渡工場での災害廃棄物処理の取組み」

生田 考（太平洋セメント(株) 環境事業部 営業企画グループ）

14:36～15:30

災害廃棄物を処理した過去の最終処分場の事例

座長 八村 智明（財団法人日本環境衛生センター企画事業部上席研究員）

9 「既存最終処分場に埋立てられた災害廃棄物の5年後の状況—長崎県長与町を例にして」

山中 稔（一般社団法人 日本応用地質学会 廃棄物処分における地質環境調査・解析手法に関する研究小委員会 委員・香川大学危機管理研究センター研究員・香川大学工学部准教授）

10 「災害廃棄物を埋立てた最終処分場の対策—新潟県三条市を例にして」

宮原 哲也（技術士(衛生工学)、測量士 一般社団法人 日本応用地質学会 廃棄物処分における地質環境調査・解析手法に関する研究小委員会 研究委員・財団法人日本環境衛生センター西日本支局）

1.1 「災害廃棄物の仮置き場としての最終処分場の利用—平成16年佐賀市竜巻
災害を例にして」

大野 博之（一般社団法人 日本応用地質学会 廃棄物処分における地質環境調査・解析手法に関する研究小委員会 研究委員・株式会社環境地質技術部 部長・財団法人日本環境衛生センター東日本支局環境科学部 専任指導員）

盛会裏に終了しましたことを報告いたしますとともに、当日ご参加いただいた皆様、ご協力いただきました関係の皆様には厚く御礼申し上げます。